

令和7年2月定例会 農林水産常任委員会の主な質疑

令和7年3月17日

発 言 者	発 言 要 旨
高橋(淳)委員	令和6年7月の大雨災害からの復旧に向けては、繰越件数が多い現状を踏まえ、事業者の確保が困難であると思われる。その対策及び課題はどうか。
農村整備課長	大雨災害からの復旧に当たっては、多額の予算及び件数を繰り越して実施することとなる。年度末及び年度始めにおいて発注業務が集中するが、市町村への資料作成業務の支援や技術的な支援にもしっかりと取り組んでいく。 事業者の確保については、発注見通しを公表していくとともに、建設協会とも情報共有をして進めていく。技術者の確保については、災害時の特例として技術者が複数の現場の兼務が可能であることをしっかりと周知していく。
森谷委員	災害復旧に係る繰越件数がこれほど多くある中で、復旧事業を実施するに当たっては、地元の事業者だけでは不足すると思われるが、現状はどうか。
農村整備課長	現状では、事業者が確保できないという情報は聞いていないが、発注のピークを迎える年度末から年度始めにかけての状況を注視し、県建設業協会とも情報共有を図りながら進めていきたい。
森谷委員	経営体育成事業の繰越理由及び農機具の内容はどうか。
農業経営・所得向上推進課長	2月末の納期に向けて進めていたが、メーカー側で納品できず、この度繰り越しをお願いすることとなったものである。なお、導入予定の機械はスピードスプレーヤーである。